

天文学と猫 第92回 プラネタリウム



www.tenpla.net



今月のお題

宇宙を感じるトイレ



宇宙を感じるトイレとは、これいかに。
デザインフェスタ参戦記です。

高梨直紘（東京大学）
平松正顕（国立天文台ALMA推進室）

トイレに顔を突っ込み、しばし微動だにせず静止し、やがて満足げに顔を上げて去っていく。年に2回、東京ビッグサイト（東京都）で行われているイベント、デザインフェスタでの光景です。天ブラでは、3年ほど前から出展しているのですが、天文学普及の一環として制作した作品「宇宙トイレ」を出展しましたので、今回のコラムではその内容と使用者の感想（個人差があります）についてご紹介したいと思います。

私たちが製作に関わった「一家に1枚宇宙図2007」。皆さん、ご覧になったことがあるでしょうか？137億年の宇宙の歴史を1枚のポスターにまとめたもので、全国で配布されました。このポスター、私たちの自信作なのですが、いかんせん一見すると難しい。好きな人にはたまらないのですが、もともとあまり興味を持っていない人には、少し近寄りたいたいかもしれません。なら、そんな心のバリアーを感じている人でも、興味を持って近づいてきてくれる媒体で宇宙図の内容を表現できないものか……。あ、トイレの形って、なんか宇宙膨張っぽい。じゃあ、

トイレでいいや、宇宙トイレ！といって誕生したのが、冒頭の作品です。

このトイレ、上から覗き込んだ時に一番奥底に見えるのは、宇宙誕生直後の姿である宇宙背景輻射です。底の部分が宇宙の始まりで、そこからだんだんと膨張してくる様子が、上に膨らむ便器の形で表現されています。中は真っ黒に塗られていて、進化する宇宙の大規模構造の様子が描かれています。うーん、リアル。上蓋のところはちょうど現在。私たちの地球が描き込まれています。蓋を閉めると、そこにはインシュタインの宇宙方程式が。利用者は、便器の形……じゃなくて、宇宙がこの形で表現されることに、驚きを禁じ得ないでしょう。

形が楽しいだけではありません。このトイレには、宇宙に関する疑問になんでも答えてくれる、便利な機能もついています。使用法はいたって簡単、便器に顔を突っ込んで宇宙の果てに向かって疑問を投げかけると、答えが返ってくるのです！いや、ホント。実際、会場では宇宙トイレに向かって多くの方が質問をぶつけ、満足して帰って行かれました。私たちはこれを天の声システムと命名。3分以上も微動だにせず



宇宙トイレの外観と、実際に利用している様子。

天の声と対話する方もいっしょに、私たちとしては思った以上の手応えを感じました。

私たちがこのトイレの展示を通じて示したかったのは、「勇気を出して一步を踏み出せば、そこに面白い世界が広がっている」という事です。みんなが見ている中でトイレに顔を突っ込むのはなかなか勇気がいることだと思いますが、トイレ（便器）の中で宇宙と対峙になり、宇宙に対する日頃の疑問をぶつけることは、知的にも面白い体験です。天文宇宙というとちょっと遠い世界のように感じますが、勇気を出して一步を踏み出せば、そこには無限の広がりを感じさせる天文学の世界が広がっている。皆さんもぜひ宇宙トイレを体験しに来て下さい。大丈夫、怖くない。